

CRM-Corrosion Control systems and Materials
Concrete Protection

NK Flake DW-V JWWA : K-149 (2004) Spec

Concrete protective linings for drinking water supply

NKフレークDW-V工法

食品衛生法の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）適合
厚生省令第15号（第1条17.ハ）及び厚生労働省令第11号
日本水道協会JWWA K-149（2004）規格適合品
変異原性試験・陰性



<http://www.ncrm.co.jp>

大切な水資源。 水質を守るNKフレークDW-V工法

水は生命の源。

人々の健康を損なうことのない、生態系の維持にもかかせない安全な水。

NKフレークDW-V工法は、変異原性試験に陰性で環境に優しい樹脂を使用しています。



DW-V工法の特徴

① 優れた安全性

厚生省令第15号(第1条17.ハ)の材質基準、日本水道協会JWWA K 149(2004)規格に適合し、高強度でじん性に優れ、耐スクラッチ性に優れることから、高い防水性能を発揮します。

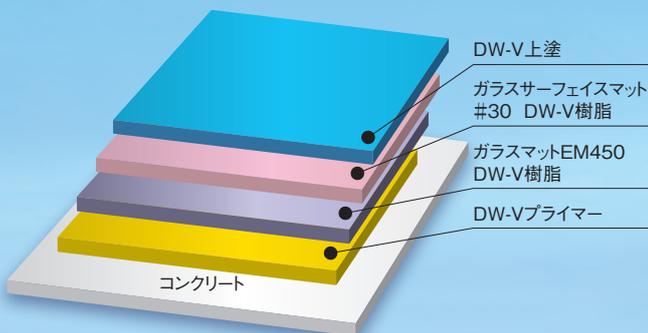
② 優れた耐クラック性

ガラス繊維で強化したことにより、クリープ特性が向上し下地コンクリートの表層クラックを防止し、追従性にも優れているため、長期間にわたってコンクリート構造物を保護します。
※表面被覆材のひび割れ追従性試験結果 1.4mm

③ 優れた作業性

ライニング用に特定したビニルエステル樹脂を用いているため、低温速硬化性です。
また、コンクリート接着性に優れた湿潤面プライマーを使用しています。

<NKフレークDW-V工法 施工断面図>



<NKフレークDW-Vの物性>

項目	単位	積層板
引張り強度	MPa	95
引張伸び率	%	1.5
曲げ強度	MPa	160
曲げ弾性率	GPa	7.5
バーコル硬度	GYZJ 934-1	45
熱変形温度	℃	110

※数値は代表値であり規格値ではありません。

変異原性

NKフレークDW-V工法は、Ames試験(非 GLP、5菌株)に陰性です。



標準仕様と標準使用量

作業工程	NKフレーク商品名	使用量 (kg/m ²)	塗装間隔及び養生期間	備考	
下地処理	コンクリート表面の処理(レイタンス・脆弱層・ゴミ等の除去、ジャンカ・ひび割れ等)を行った後、十分に乾燥させる。				
プライマー塗布	DW-Vプライマー	0.12	夏:1時間~2日 冬:2時間~3日	ハケ・ローラー等にて塗布	
下地調整 パテ塗布	DW-Vパテ	0.5	指触乾燥後	コテ・ヘラ等にて塗布	
積層	補強層	DW-V樹脂 + (GM)	1.1	直後	脱泡ローラー等を用いて十分に気泡を取り除く
	表面補強層	DW-V樹脂 + (SM)	0.4	指触乾燥後	
上塗塗布	DW-V上塗	0.3	気温20℃以上:最短3日 気温5℃以上:最短5日	2回塗布する場合は表面研磨を行う	

※GM: ガラスマットEM450相当品、SM: サーフェイスマット#30P

色見本

(NKフレークDW-V上塗)



65-70L 近似色

商品一覧表

適用	NKフレーク商品名	外観	梱包形状	促進剤配合率 (%)	硬化剤配合率 (%)	可使時間 指触乾燥時間
プライマー	DW-Vプライマー	褐色液状	17kg/缶	なし	なし	—
下地調整材	DW-Vパテ	灰色パテ状	20kg/缶	0.5~3.0	0.5~3.0	30~60分 3~6h
積層用樹脂	DW-V樹脂	黄色液状	15kg/缶	0.5~3.0	1.0~3.5	30~60分 3~6h
上塗	DW-V上塗	ブルー色液状	18kg/缶	1.0~2.0	1.0~3.5	20~30分 4~10h
促進剤	DW-V促進剤	紫液状	1kg/缶 15kg/缶	—	—	—
硬化剤	DW-V硬化剤(硬化剤328E)	淡黄液状	1kg/ポリ容器 5kg/ポリ容器	—	—	—
補強材 (GM)	ガラスマット EM450	—	1.04m×64m/ 本(30kg)	—	—	—
表面補強材 (SM)	サーフェイスマット#30	—	1.04m×200m/ 箱(6.2kg)	—	—	—



CRM 株式会社

〒465-0013 名古屋市名東区社口1丁目913番地

TEL(052)777-5311(代) FAX(052)777-7680

<http://www.ncrm.co.jp>

販売元 CRM 株式会社

製造元 富士レジン工業株式会社

ご使用上の注意事項

取扱いならびに使用にあたって、次の事項に充分留意されますようお願い致します。

①材料は、飲料水用に厳選されていますので、代替材料の使用はできません。

また、施工作业中は清潔に保ち、異物混入を避けてください。

②材料の取扱いについては、事前に缶に貼付のラベル、その他の注意書きおよび別添の製品安全データシート(MSDS)をよくお読みください。

③ご使用中は、目視により異常がないかどうか、必ず定期的に点検を行ってください。異常が発見された場合は弊社にご連絡ください。

④槽などの点検、洗浄などで内部に入る場合は、底の柔らかい靴をご使用ください。また濡れている場合は、滑りやすくなりますのでご注意ください。なお内部洗浄は水洗いを原則としています。

⑤周辺で作業される場合は、火気を接触させたり、衝撃を与えないよう(工具などをぶつけたり、落としたり)ご注意ください。

※その他、ご不明な点がありましたら、弊社にお問い合わせください。